

巻頭言

予防鍼灸研究会雑誌 (J-PAM) 創刊にあたって

予防鍼灸研究会 会長 金井友佑

予防鍼灸研究会雑誌創刊号をお届けできることを大変嬉しく思います。

予防鍼灸研究会として始動してから 2 年余り。多くの皆さまのご協力のおかげでここまで研究会を継続してこれてきました。そしてこの度、会をさらに発展させていく試みのひとつとして、研究会雑誌を刊行する運びとなりました。

予防鍼灸研究会の開催にあたり多くの講演者にご協力いただきました。どの講演もとても示唆に富むものばかりでした。こうした講演内容はこれまで抄録のみにとどめていましたが、貴重な内容を記録するためにも雑誌として残すことにいたしました。

私たちが直面したコロナ禍によって、健康への意識が高まっています。このような時期だからこそ、東西医療の架け橋がますます大切だと考えます。そして我々医療関係者はより一層、予防や養生を含めた幅広い視野に基づいた医療知識を学ぶ必要があると思います。学んだ情報を発信していくのも当会や会員の大事な役割になると思います。

本誌を通じて、皆さま方の日常診療の向上を期待します。